

読書の家から



新刊案内

あぶた読書の家

一般 葉形・花色でひける
木の名前がわかる事典433種
(大島敏昭) 美木良介の健康プ
ログラム腰痛・肩コリ・足のむ
くみは私におまかせください(美
木良介) 新島八重と新島襄幕
末のジャンヌ・ダルクノ平和の
使徒と呼ばれた夫婦(楠木誠一
郎) 犬の医学(田中茂男・監修)
歡喜の仔 上・下(天童荒太)
刺客春秋親子草恋しのぶ(鳥
羽亮) 修羅ゆく舟(蜂谷涼)
欠落(今野敏) 繚乱(黒川博行)

三千光年の星たち 上・下(宮
本輝) 冷血 上・下(高村薫)
潜伏者(折原一) 路(吉田修一)
光(道尾秀介) 夜鳴きめし屋
(宇江佐真理) 探偵法問(こます
り事件簿(東直巳) 人質(佐々
木譲) 残り火(小杉健治) ジ
ョン・マン 望郷編(山本一カ)
児童書 クリスマスのりんご
ルース・ソーヤ(上橋由美子)

みずつみ読書の家

一般 冷血 上・下(高村
薫) 残り全部バケーション(伊
坂幸太郎) ゆんでめて(畠中
恵) 散華ノ刻、木槿ノ賦(佐伯
泰英) 新・雨月 上・中・下(船

今月の1冊

「トガリ山の
ぼうけん」シリーズ
(全8巻)
「風の草原」
いわむらかずお

トガリ山のトガリネズミのおじい
さんが三匹のまごに話すとお
きの長〜い話。トガリじいさんの
若い頃のぼうけんのお話を3匹の
まごたちはまいばんわくわくしな
がらききます。

さてさてきょうは、
どんなおはなしか
な...

開館時間
午前10時より午後4時20分
4月休館日
11日・18日・25日・29日・5月2日・
3日・4日・5日・6日・9日
(毎週木曜日・祝祭日休館)
あぶた読書の家 ☎76・2100
みずつみ読書の家 ☎75・4702

戸与一) 永遠の仔 全5巻(天
道荒太) 137億年の物語(ク
リスファー・ロイド) へこたれ
ない人(佐藤政美) 新渡戸稲造
「武士道」(山本博文) 浮かぶ瀬
もあれ(白川道) 別れる力(伊
集院静) くらしの歳時記生活
たのしみ隊) 月の満ち欠け絵
本(大枝史郎)
児童書 中学生までに読んで
おきたい日本の文学 全10巻あ
すなる書房編)
ロータリー文庫 構造地質学
(狩野謙一) 日本の地質 増補
版・東北地方(日本の地質編集委
員会)

ピノキオ読み聞かせ
(一年生歓迎読み聞かせ)
日時 4月26日(金)14時
場所 あぶた読書の家

わたしのうた

短歌

【あぶた短歌会】三月定例会より

陽のあしどほのかにさして春の雪

裸木の枝に花咲くごとく

大西 芳子

ときならぬ吹雪に襲はれまた冬に

春の息吹は少し遠のく

北島 加代

父逝きてはや一周忌今日もまた

香けむること雪は舞ひ舞ふ

元田 フジ子

入試終へ心配無用と孫からの

電話はいきいき手こたえ十分

太田 智

日もすがら つららゆしづくホタホタと

春の足音きけとごとくに

山木 孝

俳句

【あぶた俳句会】三月定例会より

花冷ゆる郭の跡を過ぎりけり

菅原 敏子

菜の花はふくしま育ち締めりをり

井村 育子

目薬をさし終え仰ぐ春の星

那須 伶子

火の山の裾に平和の雪合戦

矢野 知子

花冷えや人事異動の期むかふ

三瓶 修

人はみな春待つ暮らし鶯の空

小笠原 勇